

キャラクター名
有海あえか (あるみ・あえか)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ブラックドッグ		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	FHチルドレン
	オプション		年齢	12→15	性別	女
覚醒	感染	衝動	解放	初期侵食率	32 %	
出自	疎まれた子	経験	約束	邂逅	欲望：居場所	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	3	0	1			4	行動値	9
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	9
精神	1	0	0			1	戦闘移動	14
社会	1	0	1			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	9		射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	4		調達	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：FH	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウェポン	白兵	4r+9	3	LV+7		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
コネ：FH幹部	
エンブレム：同属殺し	
エンブレム：コンピネーター	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
強化兵	P	N		
固定：安藤 桂太郎	P	友情	N	疎外感
固定：若杜 コウ	P	尊敬	N	疎外感
シナリオ：櫻井 青葉	P	懐旧	N	憤懣
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセ：ブラックドッグ	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果： C値-LV（下限値7）								
アームズリンク	3	2	メジャー	武器	-	対決		
効果： エフェクトを組み合わせた判定のダイス+LV個								
ライトニングリンク	3	4	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果： このエフェクトと組み合わせた攻撃の攻撃力+[LV*4]。ただし5点のHPを失う								
バリアクラッカー	2	4	メジャー	武器	-	対決	80%	
効果：このエフェクトを組み合わせた攻撃でガード不可、装甲無視。カバリング時はガードを行ったものとしてダメージを算出できない。シナリオLV回								
インフィニティウェポン	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： シーン間、このエフェクトで武器を作成・装備								
イオノクラフト	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 飛行状態で戦闘移動を行う。その際の移動距離+[LV*2]m								
ジャイアントウェポン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 《インフィニティウェポン》で作成する武器の攻撃力+5。ただし作成する武器は装備している間、他の武器は装備不可								
クロックフィールド	2	4	セットアップ	至近	範囲[選択]	自動	-	
効果： ラウンド間、対象の【行動値】+5 シナリオLV回								
文書偽造	★							
効果：								
ショート	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「わたし、悪い子の勉強中です」

「A.I.M」所属のFHチルドレン。
 悪い子になるため、人を殺すための罪悪感を薄れさせるために精神強化を受けている。
 親から解放されて自由になったと思ったが、リーダーのアズールがかなり力で抑圧してくるため
 次の敵としてアズールを見ている。死にたくはないので従っているが、反骨心はかなり強い。
 機能的なアズールに反抗して、ちょっぴりオシャレに気を遣っている。
 いつかアズールを倒すため、自分と同じシンドロームへの対策としての力を磨いている。

「わたし、いい子にするから！」

ごく普通の小学生。
 ただし両親は離婚しており、現在は母親と再婚相手の男と暮らしている。
 母親は放任主義、再婚相手もあえかには興味がなく、夜は彼女を置いてどこかに出かけていることが多い。
 (いわゆるネグレクト気味)
 ただしそれを外や友人たちに相談することはない。
 親の関心を引くために優等生、あえかの言う「いい子」として振る舞うことが多い。
 そうしていれば、いつか関心を向けてくれると思っている。
 一方で家において一人であることが多いため、学校に長く残れるように委員会の仕事をしている。
 (なので学校からはなおさら優等生とされている)